

平成 29 年 3 月 28 日
アンジェス MG 株式会社

高血圧 DNA ワクチンが心機能障害にも有効であることを示唆
当社寄付講座である東京大学の研究グループが Nature 関連誌に論文発表

当社は、東京大学医学部付属病院（以下、東大病院）に産学連携の拠点として設置されている「22 世紀医療センター」に寄付講座を設け、遺伝子治療薬や核酸医薬など遺伝子医薬の開発とその臨床研究を推進しています。この度、同寄付講座である先端臨床医学開発講座の鈴木淳一特任准教授のもとで実施された高血圧 DNA ワクチンに関する論文が、著名な科学雑誌 Nature 誌の関連誌である Scientific Reports（Scientific Reports 7, Article number:43920, 2017）に掲載されましたので、以下のとおりお知らせいたします。

本論文では、血圧を上昇させる作用をもつアンジオテンシンⅡに対するペプチドワクチンを、心筋梗塞を起こしたラットに投与すると、アンジオテンシンⅡに対する抗体ができ心機能障害を改善すること、また、そのラットで副作用がないことが報告されています。さらに、アンジオテンシンⅡペプチドワクチンを投与したラットから得た抗血清を、心筋梗塞を起こしたラットに投与すると、心機能障害を抑制することも報告されています。これらの結果はアンジオテンシンⅡペプチドワクチンが心機能障害の治療薬になる可能性を示唆するものです。

当社は、アンジオテンシンⅡに対する抗体を体内で作り出し、その働きを抑えることで高血圧を治療することを目的とした高血圧 DNA ワクチンの開発を進めておりますが、今回の結果は、アンジオテンシンⅡペプチドワクチンが高血圧だけではなく心筋梗塞による心機能障害の治療にも有効であることを示唆しています。

以上

お問い合わせ先

アンジェス MG株式会社 経営戦略本部 経営企画部 広報・IR 担当

TEL: 03-5730-2641